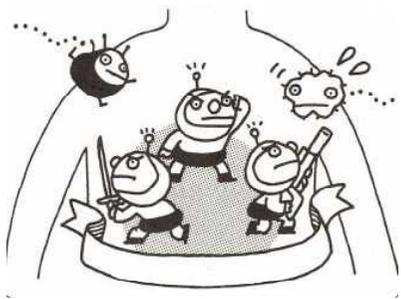


体を守れ！ 免疫パトロール隊

私たちのまわりには、目に見えないバイキン（細菌やウイルス）がたくさんいます。それでもすぐに病気にならないのは、バイキンとたたかって、体を守るしくみがあるからです。

このしくみを「免疫」といいます。体の中をパトロールして、バイキン=敵をやっつける「免疫パトロール隊」です。



免疫パトロール隊が
体をバイキンから
守っています

免疫パトロール隊の隊員は、体のどこにいますか？

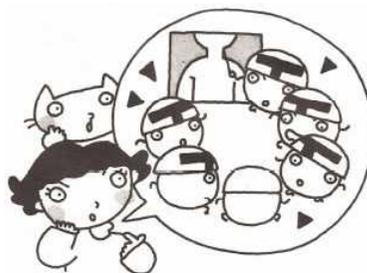
そう、血液の中の「白血球」が血液と一緒に体じゅうをまわって、パトロールしています。そして、バイキン=敵を見つけると、やっつけて体を守ります。



免疫パトロール隊は
血液の中の「白血球」

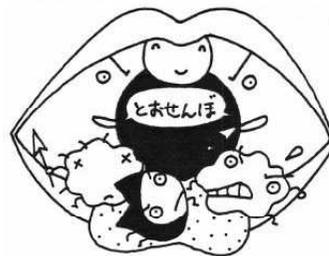
免疫パトロール隊は血管のほかに、もう一つパトロール用の道を持っています。これを「リンパ管」といいます。リンパ管も血管と同じように、体じゅうに通っています。

敵が体に入ると、免疫パトロール隊はリンパ管のあちこちにある「基地」（リンパ節）に集まって、作戦会議をひらきます。



体に敵が入ると
免疫パトロール隊は
リンパ節で作戦会議
をひらきます

また、みなさんののどにも免疫パトロール隊の基地があります（「へんとう」）。かぜをひくとのどが痛くなるのは、バイキンが体の中に入らないように一生懸命たたかっているからです。そして、たたかいはげしくなると熱が出ます。



敵が体の中に
入らないようにのどにも
免疫の基地があります

もしも、のどが痛くなったり熱が出たときは、無理をせずに体を休めて、免疫パトロール隊のたたかいを応援してください。



熱があるときは
体を休めて、免疫を
応援してください